

フードバンク福岡

アクションプラン

2022 年度版



特定非営利活動法人

フードバンク福岡

目 次

巻頭言	1
1. フードバンクとは	2
2. フードバンクと食品ロスの現状	3
3. フードバンクの目指す姿	4
4. フードバンク福岡について	5
4-1 フードバンク福岡の体制	5
①食品の管理	
②食品の保管施設	
③合意書の締結	
④食品輸送・配布手段	
⑤従事者	
⑥経営	
⑦広報	
4-2 活動の推移	8
4-3 その他関係団体	10
5. フードバンク福岡の課題と行動計画	11
(1) 基盤整備と機能強化	11
(2) 活動資金の確保	12
(3) 広報活動の強化	13
6. フードバンク福岡が掲げる目標	14
6-1 インフラ整備	14
6-2 安定した運営	15
6-3 適切な事業規模	15
7. 終わりに【今後に向けての思い】	16

フードバンク福岡アクションプラン（2022年度版）の策定に当たって

特定非営利活動法人フードバンク福岡は、2017年度より本格的な活動を開始し、企業や個人から提供いただいた食品を必要とする方へ配布することにより、食品ロス削減（環境面）と食のセーフティネット（福祉面）の両面で活動してきました。フードバンク福岡も設立して5年目に入り、徐々に福岡県内での認知度もあがり、多くの方から期待を寄せられる組織に成長してきています。

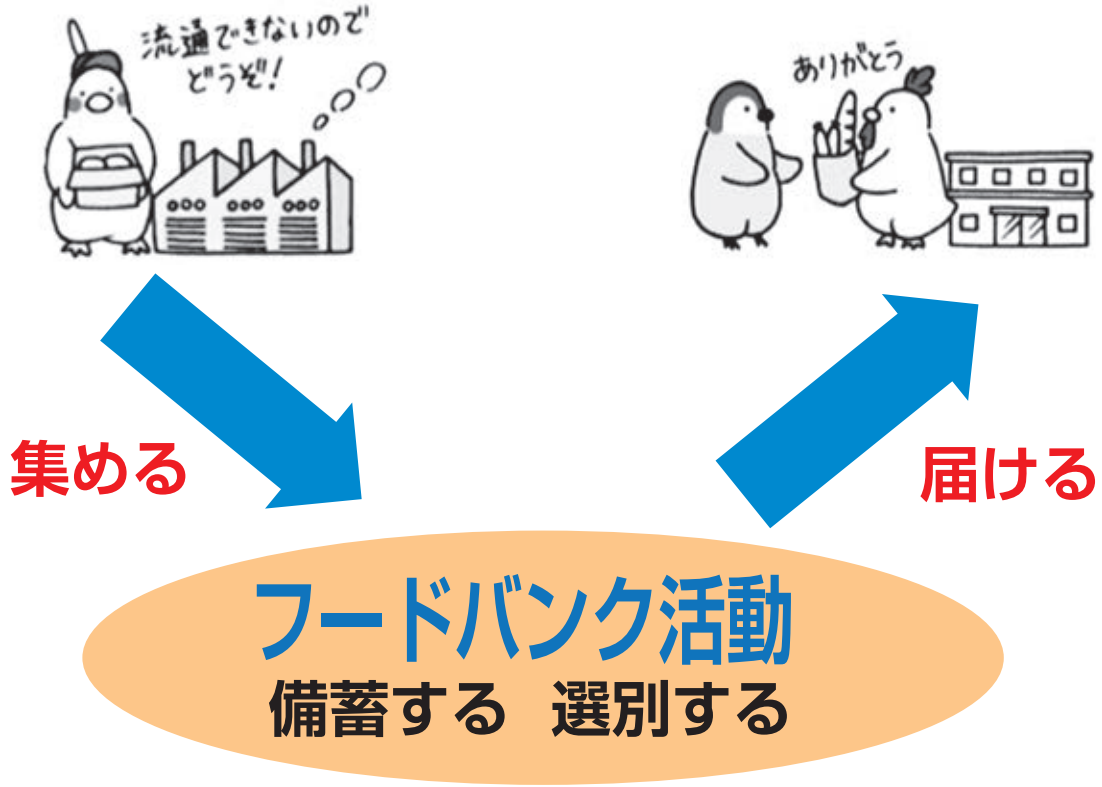
昨今、フードバンク活動は、SDGsに取り組む企業が増えてきたことや、食品を必要とする方々の増加など、社会的ニーズがますます高まってきており、フードバンク福岡の運営も見直す必要が出てきました。

そこで今回、今までの活動を振り返ると共に、安定的に団体運営を行うことを目標としたアクションプランを作成しました。本プランが、現在フードバンク福岡に関わってくださっている皆様が、これからも安心して参加いただけるための一助となれば幸いです。また、今後フードバンク活動を始めようとする方々の指針になることで、広くフードバンク活動が広まっていくことを願っています。



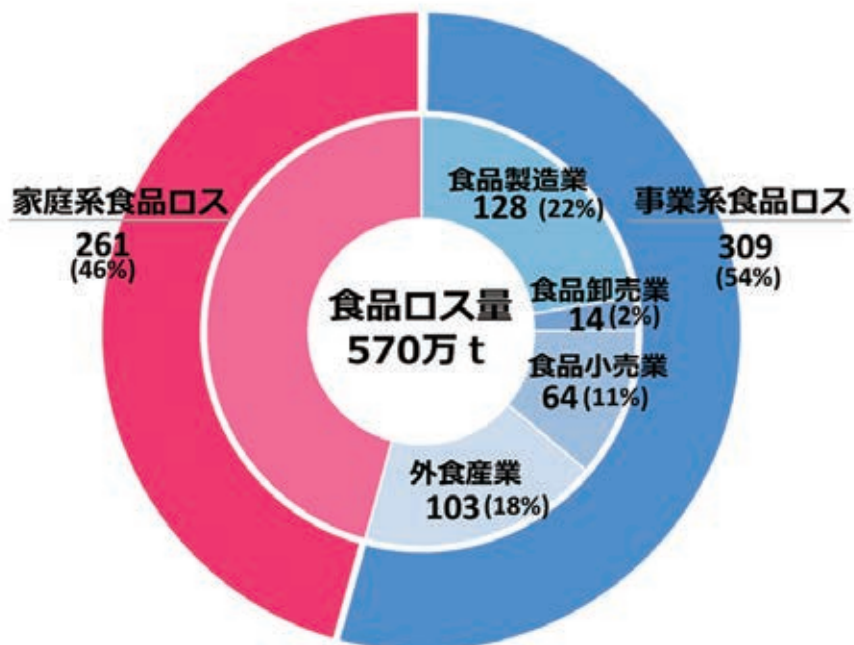
1. フードバンクとは

食品の質には問題ないのに印字ミスや箱が壊れたり、規格外として通常の販売が困難な食品や食材を、企業・農家・個人などから引き取り、食べ物に困っている人や福祉施設等は無償で提供する活動のことです。



2. フードバンクと食品ロスの現状

日本では、年間 570 万トン※もの食品ロスが発生している一方で、7 世帯に 1 世帯が貧困に陥っています。フードバンク活動は環境福祉両面に効果的な活動であり、令和元年 10 月に施行された「食品ロス削減推進法」の中にもフードバンク活動普及へ方針が示されています。(※令和元年度農林水産省推計値)



国民 1 人当たり食品ロス量

1日 約124g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に近い量

年間 約45kg

※ 年間1人当たりの米の消費量 (約53kg) に近い量



資料：総務省人口推計(2019年10月1日)
令和元年度食料需給表(確定値)

農林水産省ホームページ「食品ロスとは」より画像引用

【参考】

食品ロスの削減の推進に関する法律(令和元年5月31日公布, 10月1日施行)

国、自治体、事業者、消費者等、多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進することを目的として策定されたもの。基本施策の一つにフードバンク活動の支援が挙げられている。



検査で袋が開けられ
流通できなくなる。



輸送途中で箱が傷み、
販売できなくなった。



季節商品の売れ残り



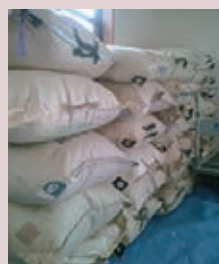
賞味期限
消費期限



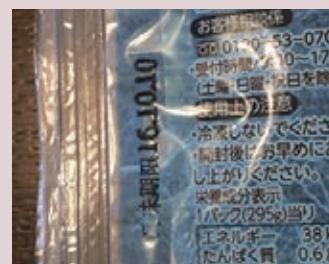
規格外品



農家で収穫する人が
いないため廃棄



余剰生産



印刷ミス(賞味期限の賞
味の文字が消えている)

3. フードバンクの目指す姿

(1)基本理念

まだ食べられる食品が多く捨てられている現状において、企業や農家あるいは個人から食品を提供してもらい、必要としている福祉施設や個人に届けることで、食品ロスの削減と生活困窮者の支援を行うとともに、食べ物を大切にすることの醸成を図り、食を通じて人と人とが繋がり、お互いを助け合い、分かち合う心を育み、誰もが尊厳をもってその人らしく暮らし、働くことが出来る社会を作ること。

(2)行動指針

活動を行うにあたり、フードバンク福岡では下記の点に留意して活動を実施しています。

①食品提供者の意思の尊重

提供いただいた食品の取り扱いについては、大切な商品・ブランドであることを十分認識し、約した条件に従い、食品利用者とともに取り扱う。

②無償性

無償性を原則とし、食品の授受に対して対価を求めません。

③食品提供先の選定

食品の提供先は、適正利用・消費ができるかを確認します。

④食品の管理

食品の品質が保証された食品のみを取り扱い、品質が保証された状態で食品受取団体へ提供します。また、食品衛生法及び管理基準にもとづき、食品の管理を適正におこないます。

⑤情報の記録提供

食品の管理状況を記録し、必要に応じ情報を提供します。また食品受取団体が適正に利用・消費できるように食品の賞味期限やアレルギー、保存方法等の情報を提供します。

⑥情報の管理

食品提供者(団体)、食品受取者(団体)、その他利害関係者の情報を当事者の許可なく流用、公開はしません。

⑦法令順守

その活動に関わる法令、規則、基準等を遵守します。また反社会的勢力とは関与しません。

(3)これまでの活動

2017年7月に特定非営利活動法人フードバンク福岡を設立しました。当時市内にはフードバンク活動を専門に行っている団体は無く、また一般の認知度も低かったため、フードバンクの活動を福岡県に定着させようということで、2017年～2019年「フードバンクを活用した食品ロス削減差事業」プロジェクト(公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター、エフコープ生活協同組合、ライフアゲイン北九州)立ち上げ活動を行いました、また、2019年～2021年度に福岡市環境局と共働事業を実施し、活動の拡充を図ってきました。

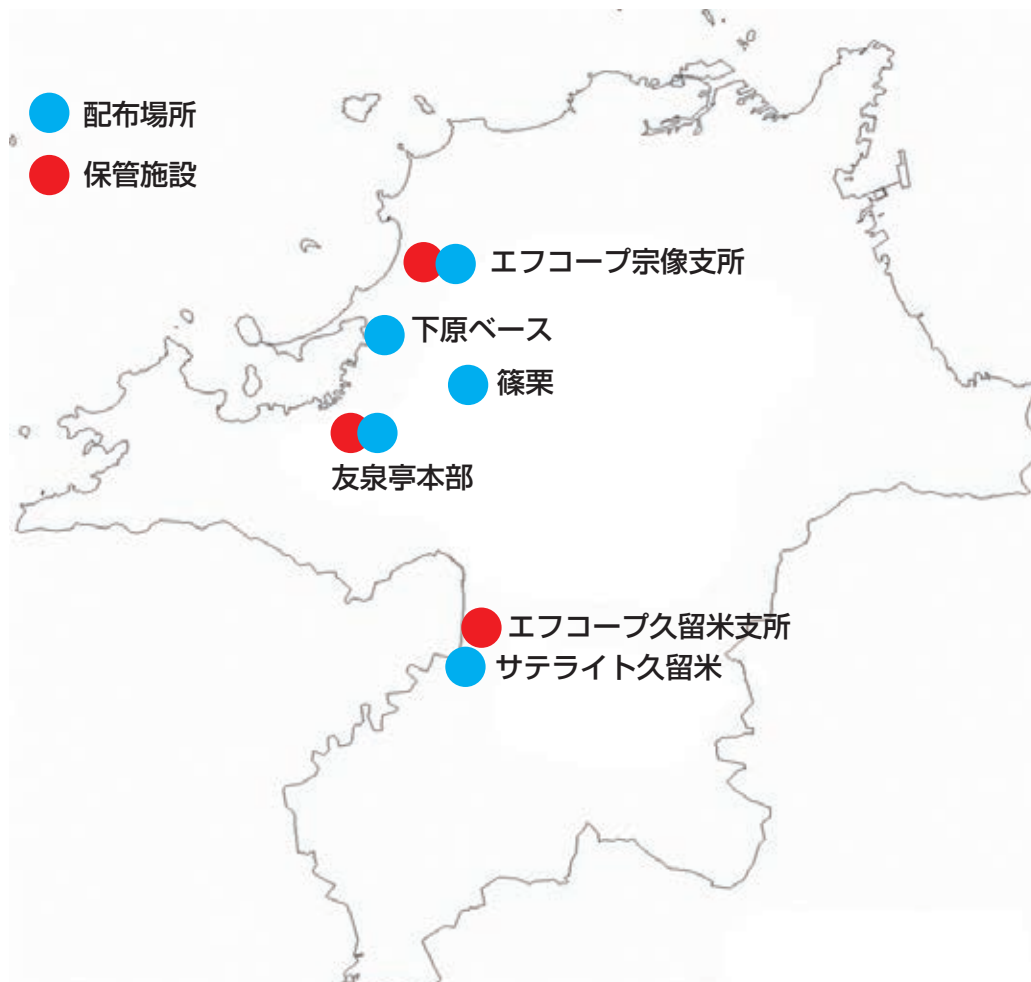


4. フードバンク福岡について

4-1 フードバンク福岡の体制

設立5年目となる現在のフードバンク福岡の状況は以下のとおりです。

施設名	区分	保管施設能力	配布開設日	運営体制
友泉亭本部	保管 配布	倉庫 40 t 冷凍庫 1.5 t 冷蔵庫 0.5 t	月・木・金 10～16時	職員 6 名 ボランティア 6 名
ランチ下原	配布	—	毎週月曜 10～14時	職員 2 名 ボランティア 2 名
サテライト久留米	配布	—	第1・第3金 13時半～15時	職員 1 名 ボランティア 1 名
エフコープ久留米支所	保管	冷凍庫 1.5 t	—	—
エフコープ宗像支所	保管 配布	倉庫約 20 t 冷凍庫 1 t 冷蔵庫 1 t	月末金 14～16時	職員 1 名 ボランティア 1 名
篠栗こころん	配布	—	第2・第4金 14～16時	NPO 法人こころんが 運営



① 食品の管理体制

食品は受取りから配布まで、その品質を確実に保持し、安全な状態で管理を行っています。また、提供先である食品受取団体に対しても食品を適正に利用できるような期限や保管方法、アレルギー等の情報を提供しています。さらに、確実に食品授受の記録を残すことで、食品を提供いただいた皆様に対し、必要に応じて情報を提供しています。

② 食品の保管設備

県内3か所に保管施設があり、常温 60t、冷蔵 1.5t、冷凍 4t 合計 65.5t の保管能力を有しています。常温品だけでなく冷凍品・冷蔵品も取扱うことができます。

③ 合意書の締結

食品を提供いただく企業や食品の配布先である団体等とは、必ず合意書を交わしています。内容には以下の点を盛り込んでいます。

- ・フードバンク福岡は、食品提供者の意思を尊重し、提供いただいた食品は約した条件に従い取り扱うこと。
- ・食品受取者は、食品を適切に取り扱うこと。
- ・無償性を原則とし、食品の対価を求めないこと。

④ 食品輸送・配布手段

企業から食品提供を受ける際は、原則として保管施設への直接持ち込みをお願いしています。しかし、輸送手段を持たない企業も多いことから、インフラ整備を進めており、現在はフードバンク福岡の従事者がレンタカーや2tトラックを利用しての引取り、委託配送等を活用する等、事業を拡充させています。

食品配布は、5か所ある配布施設で行っていますが、状況によっては個別郵送等も行っています。

⑤ 従事者

フードバンク福岡では直接運営する5施設に職員とボランティアを配備し、食品の管理、受取、配布等を行っています。



⑥ 経 営

フードバンク福岡の直近3年間収支は下記とおりです。

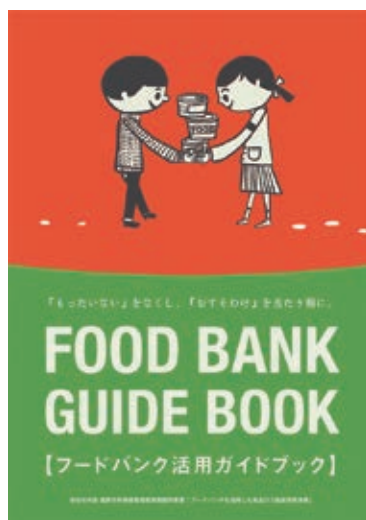
事業実績	2021 見込み	2020	2019	2018
正会員受取会費	450,000	575,000	225,000	265,000
賛助会員受取会費	1,300,000	1,064,000	151,000	159,833
受取寄付金	6,000,000	4,392,080	1,318,697	2,014,963
受取助成金	12,800,000	13,884,000	9,365,000	880,000
受託事業収益			3,500,000	4,300,000
資産受贈益				1,819,800
受取利息・雑収益	60,000	158,907	370,621	108,312
経常収益 計	20,610,000	20,073,987	14,930,318	9,547,908
【事業費】				
人件費計	3,850,000	3,356,548	2,137,308	843,322
その他経費計	6,036,100	5,434,559	6,877,637	4,835,930
事業費 計	9,886,100	8,791,107	9,014,945	5,679,252
【管理費】				
人件費計	2,063,000	1,989,000	2,832,567	1,138,900
その他経費計	2,086,614	2,362,198	2,889,361	1,185,992
管理費 計	4,149,614	4,351,198	5,721,928	2,324,892
経常費用 計	14,035,714	13,142,305	14,736,873	8,004,144
当期経常増減額	6,574,286	6,931,682	193,445	1,543,764

⑦ 広 報

フードバンク福岡ではホームページを開設している他、フェイスブック等の SNS での情報発信、意見交換会等イベントの実施等により広報を行い、様々なメディアにも取り上げられようになってきました。また、事業周知のために広報物を作成しており、用途にあわせて配布しています。



フードバンク福岡を知りたい方向け



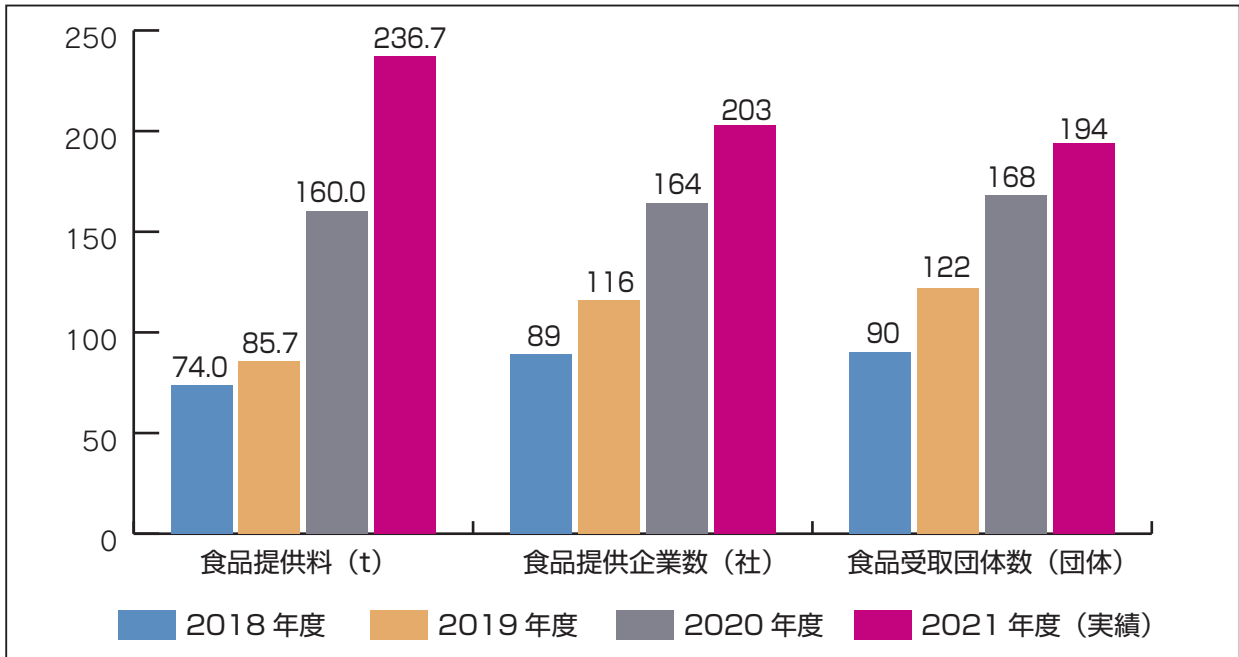
フードバンク活動に興味のある事業者向け



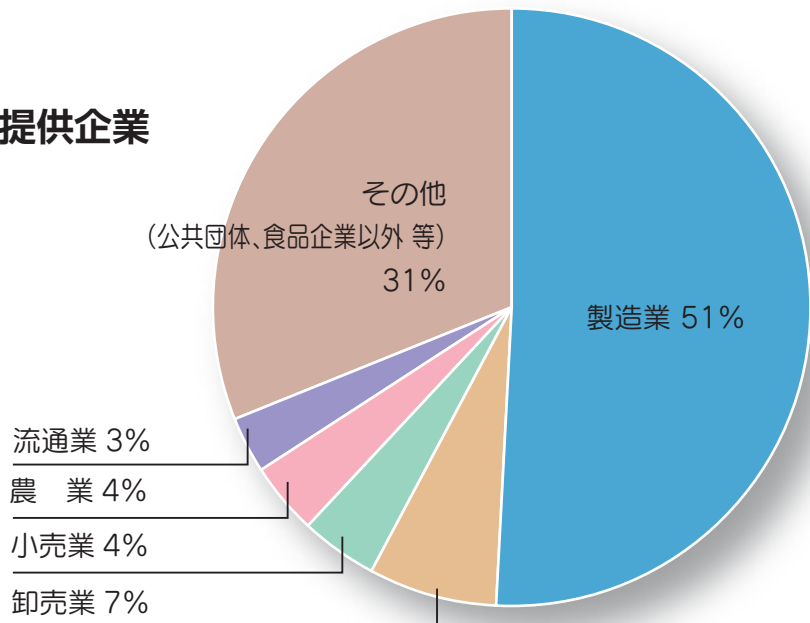
フードバンク福岡に関わっている方向け

4-2 活動の推移

2018年度以降の活動状況は下記のとおりです。



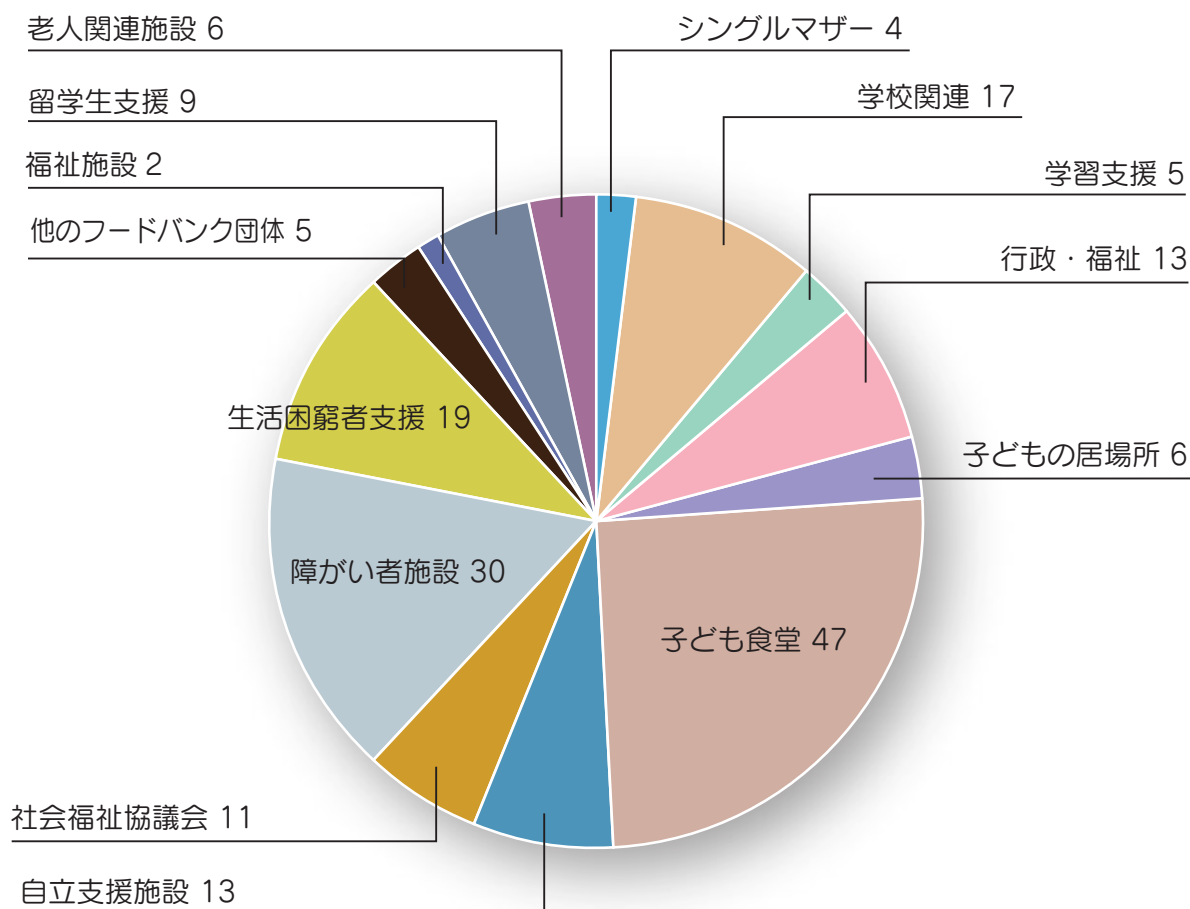
合意書を交わしている提供企業 (134社) の内訳



食品提供企業一覧 (一部抜粋)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| エフコープ生活協同組合 | 株式会社 ミツヤ |
| 福岡県農業大学校 | 株式会社 菜根譚るきあ |
| 株式会社 久原本家グループ本社 | キューピータマゴ株式会社 鳥栖工場 |
| 株式会社 ドール | ダイドードリンコ株式会社 |
| 株式会 社唐人ベーカリー | 株式会社 永谷園ホールディングス |
| 五洋食品産業株式会社 | 株式会社 一蘭 |
| 石井食品株式会社 | 雪印メグミルク株式会社 九州統括支店 |
| トップ卵株式会社 | イオン九州株式会社 |
| コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 | 日清食品ホールディングス株式会社 |
| 九州電力株式会社 | ネスレ日本株式会社 |

合意書を交わしている受取団体（187 団体）の内訳



各団体の主な活動内容

- 子ども食堂：全体の 2 割程度をしめ、集会所や公民館で子どもを中心に食事を提供。
- 生活困窮者支援団体：ホームレスへの炊き出しや弁当の提供。
- 障がい者施設：障がい者の自立や生活サポートを行う。
- 行政・社会福祉協議会：福祉課の窓口等で相談に来られた方で食品が必要な方へ生活困窮者セットを提供。
- 自立支援施設：養護施設を退所した子が一人立ちできるまで住居等の支援をおこなう団体や、刑務所を出所後、自立できるよう支援をおこなう団体等。

4-3 その他関係団体

食品提供だけでなく、様々な形で皆様にご協力いただいています。

①設備関連

- ・エフコープ生活協同組合から、市外の保管設備（古賀市、久留米市）と配送備品の貸与を受けています。
- ・JA 福岡市から、市内本部事務所および倉庫の貸与を受けています。
- ・株式会社 With pleasure 高島屋から委託配送に協力いただいています。

②他のフードバンクとの連携

一般社団法人福岡県フードバンク協議会、各フードバンク団体（NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲイン、ふくおか筑紫フードバンク、NPO 法人ふれあいフードバンク飯塚、フードバンクくるめ）と連携しています。

③地域団体との連帯

- ・各社会福祉協議会、各行政区で生活困窮者へ配布する緊急支援セットを配置し、情報提供を行っています。
- ・NPO 法人ころんが実施する地域ネットワークのモデル地区づくりに連携し、食品提供を行っています。

④フードドライブ関連

家庭で使いきれない食品を寄付してもらおうフードドライブの開催に関してご協力いただいています。

常設：福岡市役所、臨海 3R ステーション、西部 3R ステーション

随時：エフコープ生活協同組合各店舗、イオン九州株式会社各店舗、キャナルシティ博多、株式会社マルキョウ各店舗、株式会社博多大丸、宗像市役所、博多マルイ、木の葉モール橋本、株式会社良品計画各店舗、ららぽーと福岡（2022 年春開始予定）、株式会社マークス各店舗、NTT 株式会社、九州電力株式会社、福岡市科学館、和白地域交流センター「コミセンわじろ」、福岡市男女共同参画推進センター「アミカス」その他

⑤フードバンクの普及活動

- ・2019～2021 年度 福岡市環境局とフードバンクを活用した食品ロス削減啓発事業（共働事業）を実施。
- ・2017～2019 年度 フードバンクを活用した食品ロス削減推進共同プロジェクトに参加。
共同プロジェクト参加団体：NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲイン、エフコープ生活協同組合、一般社団法人福岡県フードバンク協議会



5. フードバンク福岡の課題と行動計画

フードバンク福岡は、2017年の本格的な活動開始以来、食品ロス削減と福祉活動の両面で成長してきたとはいえ、まだ多くの課題を残しています。

今後の活動に向けての課題とその解決に向けた行動計画を以下に示します。

(1) 基盤整備と機能強化

①施設、配送インフラの整備と運用ルール

課題

フードバンク福岡への食品提供量と食品受取団体数が年々増加していることから、2021年12月に城南区友泉亭へ事務所及び倉庫を移転し、設備を拡充・集約しました。しかし、今後も増加が見込まれることから、友泉亭本部を福岡県全体のハブ倉庫として使用するための運用計画と、福岡県全体を網羅するための配送インフラの整備が必要です。



行動計画

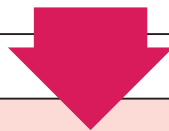
配送インフラの整備として、4t車を中心とした委託配送を行い、食品引き取りの効率化を進めると共に、他のフードバンクとの食品流通体制を検討します。

また、食品保管能力の増加と施設の拡大に対応した運用計画書の作成と食品管理システムの構築を検討します。

②地域単位での食品配布施設の構築

課題

必要な方への食品提供をより円滑にすすめるため、より多くの方が食品提供を受けられるような窓口の整備が必要です。



行動計画

エフコープ宗像支所、下原、久留米、友泉亭本部を起点とし、地域と連携して食品配布施設の拠点作りを行います。併せて地域単位で詳細な活動の状況の把握を行うことで、より状況に即した対応を行います。

③人員確保

課題

事業規模と内容に応じた人員の確保と、将来に向けた人材の育成が必要です。



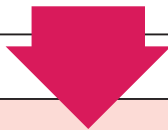
行動計画

広報等により、事業規模と事業内容に応じた人員の確保を実施します。また、一部作業については委託に切り替え、作業負担削減を検討するとともに、ボランティアの組織づくりを行います。さらに、将来に向けた人材育成のための講習会等を計画します。

④食品提供企業のさらなる拡大

課題

企業が食品を提供しやすい環境づくりが必要です。



行動計画

フードバンク活動そのものの周知の他、フードバンク福岡の食品に関する取扱い状況、配送体制等の広報を強化するとともに、食品提供引取り体制を補強します。

⑤食品受取団体への提供ルールの再確認とフードバンク活動の周知徹底

課題

コロナの影響で食品受取団体の活動内容が変化してきており、個人への食品提供が多くなってきたことから、食品配布の履歴の確認できにくくなっています。また、フードバンクの主旨等を利用者一人一人にまで理解してもらう必要があります。



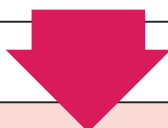
行動計画

食品受取団体に対しルールの遵守、食品提供方法等をヒアリングするとともに、フードバンクの主旨等について広報媒体、書面等で周知します。

⑥個人の方への食品支援希望の対応

課題

コロナの影響等で、シングルマザーを中心に個人の方からの食品支援の要請が増加しており、対応が求められています。



行動計画

個人支援として期間限定で郵送での対応を行い、状況に応じて、食品受取団体へ対応を依頼します。同時に行政の福祉課、各社会福祉協議会等、緊急支援セットの配置場所を増やすことで、個人の支援継続に繋がります。

(2) 活動資金の確保

課題

フードバンク福岡の活動は無償で行っており、その活動資金は皆様の寄付や助成金等によるところが大きくなっています。事業規模の拡大に伴い、必要経費も増加する中、今後も継続して活動を行うためには、資金確保の手段を強化する必要があります。



行動計画

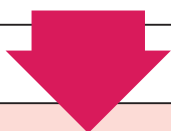
継続的な資金の確保として、地域協力団体（者）の信頼に基づく運営を行い、取組内容の明確化と多くの方にフードバンクの運営体制を知ってもらう取り組みをすすめます。これを基本として裾野の拡大による、会費寄付のウェイトを上げる取り組みを実施

- 受取団体の会費制の導入とルールづくりを検討
- 寄付・会費の仕組みづくり（会費のマンスリー登録）と取り組みの具体化
- 寄付金会費の随時案内の実施
- 支援型自動販売機の設置拡大
- 寄付つき商品の開発と展開の具体化
- 必要に応じて助成金の計画的確保

(3) 広報活動の強化

課題

福岡県内の認知度もあがりつつあるとはいえ、多くの方の期待に応えることのできる取り組みをすすめていく必要があります。



行動計画

ホームページや広報物による発信力の強化と充実、マスコミへの情報提供、各イベントへの参加、学習会講演会の開催、関連団体への定期的な情報提供等により、認知度向上を図ります。中でも、フードドライブを中心とした食品ロス削減の取り組みを進め、多くの方の参加を促します。具体的には、各行政施設、大型商業施設等に対しフードドライブの常設を提案し、職場や学校でも進んで取組みが行われることを目指します。

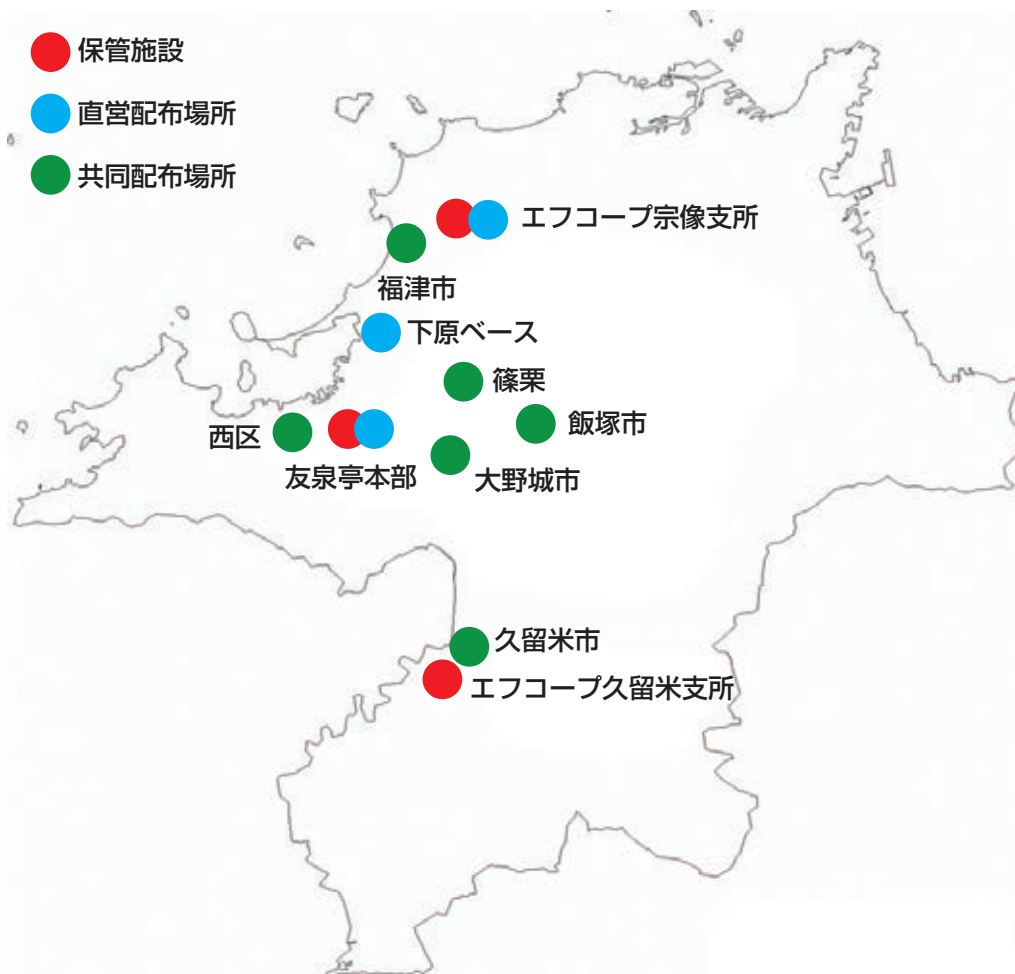
開催月	開催日
2021年 8月 実施日	8/15(日)
2021年 9月 実施日	9/13(月)・19(日)
2021年 11月 実施日	11/14(日)
2021年 12月 実施日	12/13(月)・19(日)
2022年 2月 実施日	2/20(日)
2022年 3月 実施日	3/14(月)・20(日)
2022年 5月 実施日	5/15(日)
2022年 6月 実施日	6/13(月)・19(日)

6. フードバンク福岡が掲げる目標

6-1 インフラ整備

現在食品の配布施設は5か所ありますが、今後さらに広域での対応を可能とするため、9か所に増設を予定しています。増設する3か所は地域の福祉団体等と連携して運用することで、その地域で食品を必要とする方に対し、効果的に食品配布が行えることを目指します。

また、市外にも配布施設を増やすことで、活動範囲を福岡県内まで網羅することを目指します。施設が増えることによって増加する食品輸送等の負担については、委託配送、配送基金等を活用し経費の圧縮を図ります。



6-2 安定した資金運営

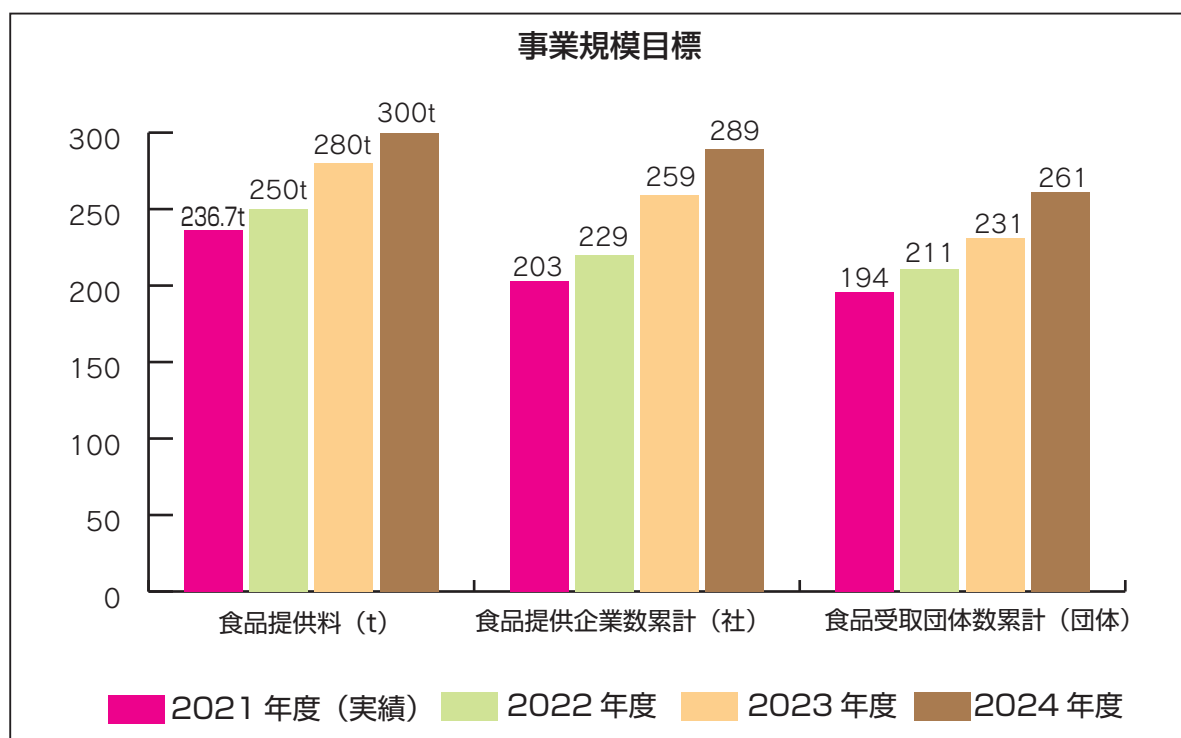
フードバンク福岡の活動資金は会費・寄付・助成金で成り立っていますが、今後も活動を継続していくために、会費・寄付の割合を上げること目指します。2024年度時点で会費・寄付合計700万円確保を目指します。

年度	会費	寄付	合計
2019年度	376千円	1,318千円	1,694千円
2020年度	1,639千円	4,392千円	5,971千円
2024年度	2,000千円	5,000千円	7,000千円

- 継続的資金確保の手段として、寄付付き商品の展開を検討します。
- 支出についても、物件費・施設関連費等は2021年度並を維持し、移送費は配送委託により削減を進めます。

6-3 事業規模

3年後の2024年度時点で、食品取扱量300t、食品提供企業数（累計）289社、食品受取団体数（累計）261団体を目指します。



今後フードバンクの活動自体は食品寄贈企業含め食品ロス削減の取り組みとして食品提供量は増加していき、食品を必要とする団体（個人）の要望もフードバンクの認知度アップとともに大きくなると考えます。

7. 終わりに

【今後に向けての思い】

食に関するセーフティネットの構築として注目を集めるフードバンク。その背景には「食品ロス」と「貧困」という2つの大きな社会課題があります。食品の余っているところと足りないところのバランスを整えることで、両方の課題解決につながります。

このフードバンクの活動を発展させていくためには、フードバンクからの食品提供を各施設・団体・行政を窓口として、必要な方が利用できる仕組みづくりが必要です。また、食品提供の管理や運用についても、寄贈する側からも信頼をいただき、提供を受ける方たちもその気持を受け止めて、大切に使用していただくことを基本としたルールのもとに運営されていることが必要です。そのためにフードバンク福岡は各地域での受取拠点の数を増やすとともに、食品提供のルール作りをおこない、多くの方が納得でき、参加可能なフードバンクの取り組みにしていくことを目指します。

日本にフードバンクという考え方が入ってから15年ほどです。今後、社会の仕組みとして安定的に位置づけられるためには、多くの方にフードバンクの取り組みを知ってもらうことと、行政を含め多くの組織とともにフードバンクの取り組みを作り上げていく必要があります。フードバンクを取り巻く状況は、今、大きな転換点にあるように思われます。その中で福岡ならではのフードバンクのあり方をフードバンク福岡として模索しつづけます。そのための一歩として、このアクションプランを確実に進めてまいります。



特定非営利活動法人
フードバンク福岡

2022年3月発行

発行・監修 フードバンク推進実行委員会

※フードバンク推進実行委員会は特定非営利活動法人フードバンク福岡と福岡市環境局事業系ごみ減量推進課との協議体です。



特定非営利活動法人
フードバンク福岡



〒814-0122 福岡市城南区友泉亭1-21

TEL(092)710-3205

FAX(092)710-3206

E-mail:fbfukuoka@gmail.com

<https://www.fbfukuoka.net/>

【宗像事務所】 〒811-3114 古賀市舞の里4-2-11
エフコープ宗像支所内

【サテライト久留米】 〒839-0801 久留米市宮ノ陣3-5-20

【下原ベース】 〒813-0002 福岡市東区下原4丁目2-1
BRANCH福岡下原内